

日中活動系連絡会事業計画進捗状況

期間：平成31年4月～令和元年8月

小牧市障がい者計画	目的・ねらい	実施内容	実績、参加人数	参考：第3次障がい者計画	参考：第5期障がい福祉計画、第1期障がい児計画
防災への取り組み	①災害時に事業所同士が助け合い、障がい者、ご家族、地域住民を支援する為の情報共有ができるようになる。 ②災害時に障がい者や地域の方が迅速に避難できる場をつくる	(9/10) 小牧市の避難所の現状、様子を知る勉強会の実施	参加者 22 名 内容：①災害発生時の対応について講義（小牧市役所危機管理課） ②質疑応答	P 5 0 (3)	
サービスの質の向上	①サービス事業者の知識の習得や、サービスの質の向上 ②サービス管理責任者、生活支援員の育成 ③サービス事業所と相談支援専門員との連携 ④サービスを利用していない障がい者の地域での居場所づくりを検討する。	(6/4) ・個別支援計画書、アセスメント内容勉強会	参加者 17 名 計画書、アセスメント提出者：生活介護ぼぼらす ・他事業所の計画書作成やアセスメントの仕方を学んだ。	P 4 1 (3)	P 4 0 (2) ②
社会参加のしやすさの向上	障がいのある人のためのサービスを分かりやすく説明した事業所ガイドブックを作成し、事業所のPRをする。	(7/16) ・日中活動系事業所ガイドブック作成、活用	作業部会を立ち上げ、ガイドブック作成を計画	P 4 8 (6)	P 4 8 (2)、P 5 7 (9)
学校との連携	①市内の卒業生の進路確保、事業所と受け入れできるか検討 ②進路指導担当と情報共有、事業所のPR	就労支援連絡会、日中活動系連絡会と特別支援学校との情報交換会の実施		P 4 2 (6)	P 4 0 (1) ⑤

☆日中活動系連絡会課題点

<p>①災害が起きた時の体制を強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉避難所の活用 ・1週間を耐える備蓄品の確保 ⇨ 日中活動系だけでなく、全事業所の備蓄品台帳を作成する。 ・利用時以外での災害時に備えて利用者の自宅訪問、地域とのつながりの確認が必要 ⇨ 災害時要援護者台帳への登録を啓発 ・事業所同士のネットワークの強化 <p>②生活介護や地域活動支援センター等の日中活動事業所の活動内容が市民に知られていない。 ⇨ 日中活動系ガイドブックの作成</p> <p>③サービスのマンネリ化及び個別支援の質の確保が重要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中サービス内容の向上 ・相談支援専門員との連携 <p>⇨ 勉強会を継続（個別支援計画書、アセスメント等）</p>
--